

ごみについて考えてみよう

—なぜ分別や減量が必要なのか—



環境処理センター（芦屋市浜風町 31 番 1 号）

近年、地球温暖化が原因と考えられる猛暑や豪雨など、環境の変化を身近に感じる場面が増えています。ものを大量に作り、大量に使い、大量に捨てる社会の中で、限りある資源をどのように大切に使うていくかは、私たちみんなに関わる大切な課題です。「出たごみをどう処理するか」だけでなく、「できるだけ出さないこと」も大切です。毎日の暮らしの中で、一人ひとりが少し意識することで、ごみを減らしたり、資源として生かしたりすることができます。

この講座では、「なぜごみの分別や減量が必要なのか」をわかりやすくお話しします。これからの地球環境や限りある資源のために、私たちにできることを一緒に考えてみませんか。

講 師： 藪田 循一 芦屋市 市民生活部 環境・経済室 環境施設課長

平成 3 年 4 月に芦屋市役所に入り、下水処理場で 19 年間勤務した後、環境処理センターでごみに関する業務に携わり、現在 16 年目になります。下水処理やごみ処理を通して、環境を守りながら、市民のみなさんの暮らしを支える仕事を続けてきました。

日時：11月6日（金）2時～3時30分 定員：先着90名（事前申込は不要）

会場：芦屋市民センター本館401室 住所：芦屋市業平町8番24号 受講料：無料

お問合せ先：芦屋市立公民館 電話：0797-35-0700 主催：芦屋市